

【一】傍線部を文法的に説明しなさい。

- 丹波に出雲といふ所1あり。大社を移して、
 2めでたく作れり。しだのなにがしとかやしる所
 3なれば、秋のころ、聖海上人、そのほかも、人
 あまた誘ひて、「いぎたまへ、出雲拝みに。かいも
 ちひ召させん。」とて、4具しもて行きたるに、お
 のおの拝みて、ゆゆしく信おこしたり。
 御前5なる獅子・狛犬、背きて、後ろさまに立
 ちたりければ、上人6いみじく感じて、「あなめで
 たや。この獅子の立ちやう、いとめづらし。深き
 ゆゑあら7ん。」と涙ぐみて、「いかに、殿ばら、
 殊勝のことは御覧じとがめずや。8むげなり。」と
 言へば、おのおのあやしみて、「まことに他に異な
 りけり。都のつとに語ら9ん。」など言ふに、上人
 なほゆかしがりて、おとなしくもの知り10ぬべき
 顔したる神官を呼びて、「この御社の獅子の立て
 11られやう、さだめてならひあることにはべら
 ん。ちと承らばや。」と言はれければ、「そのこと
 に候ふ。さがなき童べどものつかまつりける、奇
 怪に候ふことなり。」とて、さし寄りて、据ゑ直し
 て12いにければ、上人の感涙いたづらになり13に
 けり。
- 1 【ラ行変格活用動詞「あり」の終止形】
 2 【ク活用形容詞「めでたし」の連用形】
 3 【断定の助動詞「なり」の已然形】
 4 【サ行変格活用動詞「具す」の連用形】
 5 【存在の助動詞「なり」の連体形】
 6 【シク活用形容詞「いみじ」の連用形】
 7 【推量の助動詞「ん」の終止形】
 8 【ナリ活用形容動詞「むげなり」の終止形】
 9 【意志の助動詞「ん」の終止形】
 10 【強意の助動詞「ぬ」の終止形】
 11 【尊敬の助動詞「らる」の連用形】
 12 【ナ行変格活用動詞「いぬ」の連用形】
 13 【完了の助動詞「ぬ」の連用形】